

ES/1 NEO

MFシリーズ

V05L21R1

Release News Letter

XSPシステム

目次

【お知らせ】

ES/1 NEO MFシリーズのサポートについて
PC製品 サポート終了のお知らせ

【HOST】

資源使用量比較一覧	
リリースニュースレター機能一覧 プロセッサ別	… 1
リリースニュースレター機能一覧 カテゴリ分類別	… 2
MF-ADVISOR	… 3
MF-eASSIST	… 5

【PC】

リリースニュースレター機能一覧 プログラム別	… 7
リリースニュースレター機能一覧 カテゴリ分類別	… 8
Performance Navigator	… 9

 株式会社 アイ・アイ・エム

本リリースニュースレターは、V05L21R1 のリリース内容をまとめたものです。過去のリリース内容につきましては、プロダクトメディア (x:¥Rnl) 内のレターをご参照ください。

改版履歴

日付	版数	内容
2021/10/28	1	V5L21R1 リリース

ES/1 NEO MF シリーズのサポートについて

各バージョンの通常サポート期間はリリースより 30 ヶ月間です。

バージョンはバージョン、レベル、リビジョンからなり、レベルを基準とします。後継リビジョンのリリースに伴い、旧リビジョンのサポートは延長されます。

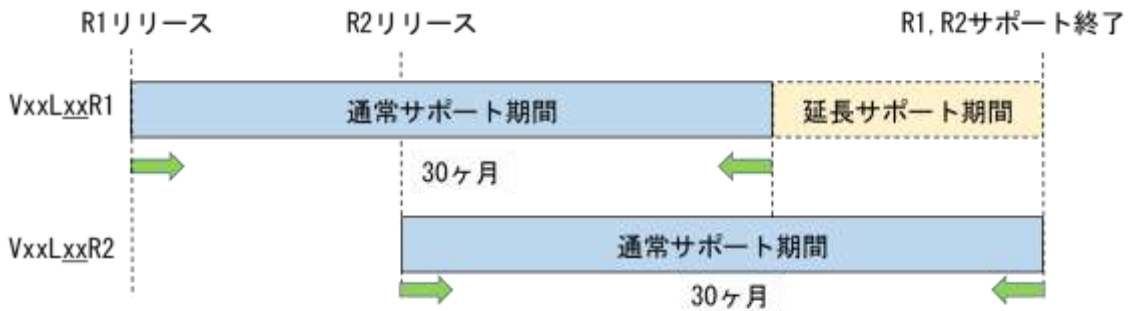


図. 製品ライフサイクルのイメージ

<バージョン（バージョン・レベル・リビジョン）の確認方法>

ES/1 実行ログにて確認できます。

例) V05L20R3 の場合

V 0 5 L 2 0 R 3
バージョン レベル リビジョン

```
LICENSEE ----- TRIAL USER
EXPIRATION DATE ----- 2020/11/30
VERSION/LEVEL/REVISION ---- 05.20.03
```

<今後のサポート予定>

今後のサポート期間について、お知らせします。

バージョン	リリース時期	サポート終了予定時期
V05L21R1	2021年10月	2024年4月
V05L20R3	2020年11月	2023年5月
V05L20R2	2019年11月	2023年5月
V05L20R1	2019年3月	2023年5月

<通常サポート中とサポート終了後の違い>

サポート終了後のバージョンも継続してご利用いただけます。

但し、不具合に対応した修正パッチは、最新リリースまたはサポート期間中のバージョンに対してのみの提供となります。サポート終了後のバージョンをご利用中に発生した不具合の対応については、原則として最新バージョンに対応した修正パッチを提供させていただきます。

	サポート期間中	サポート終了後
当該バージョンの継続使用	可	可
製品の使用方法に関するご質問	可	可
不具合発生時の調査	可	可※
不具合修正パッチの提供	可	不可

※ナレッジベースでの調査となります。

<バージョンアップのお願い>

通常サポート期間を終了したバージョンについては、限定的なサポートのみの提供となります。最新バージョンへのバージョンアップのご検討をお願いいたします。

以上

PC製品 サポート終了のお知らせ

現在、MF-eASSIST でサポートしています次のアプリケーションを、V05L21R1 (2021 年 10 月)にてサポート終了とさせていただきます。

<サポート終了アプリケーション>

Microsoft® Excel2010 / Word2010

また次のアプリケーションを、2022 年 7 月 31 日にてサポート終了とさせていただきます予定です。

<サポート終了アプリケーション>

Internet Explorer 8~11

V05L21R1 では、MF-eASSIST の対象環境は次の通りとなります。

<オペレーティング・システム>

Microsoft® Windows® 8.1

Microsoft® Windows® Server 2012

Microsoft® Windows® Server 2012 R2

Microsoft® Windows® 10

Microsoft® Windows® Server 2016

Microsoft® Windows® Server 2019

<アプリケーション>

Microsoft® Excel2013 / Word2013

Microsoft® Excel2016 / Word2016

Microsoft® Excel2019 / Word2019

Internet Explorer 8~11 (※2022 年 7 月 31 日まで)

Windows Edge

Google Chrome

.NET Framework 4.5.2 以上

以上

ES/1 NEO MFシリーズ V05L21R1 資源使用量比較一覧

本資料は、ES/1 NEO MFシリーズ V05L21R1 と、以前のリリース (V05L20R3) との資源使用量比較一覧です。
各項目の意味は以下の通りです。

CPU		以前のリリースと比較し、CPU時間が1割以上増加することがある場合、●としています。 この結果は、入力されるデータにより異なります。
STG	本体	以前のリリースと比較し、使用仮想記憶域が増加した量を示します。 この結果は、入力されるデータには関係ありません。
	データ	以前のリリースと比較し、上記本体の増分以上に使用仮想記憶域が増加することがある場合、●としています。 この結果は、入力されるデータにより異なります。

		V05L20R3 vs V05L20R1		
		CPU	STG	
			本体 (KB)	データ
MF-XSP	CPECNVRT	—	0	—
	CPEXSPCV	—	4	—
	CPEPRT00	—	0	—
	AIMPRT00	—	0	—
	AIMTRCO0	—	0	—
	JOBDSNO0	—	0	—
	HIBICHKO	—	0	—
	AVMPRT00	—	0	—
MF-MAGIC for XSP	CPEDBAMS	—	8	—
	BOXSYS00	—	0	—
	BOXAIM00	—	0	—
MF-SCOPE for XSP	JOBEXE00	—	0	—
	JOBTRCO0	—	0	—
	JOBGRPO0	—	0	—
	JOBXSPMO	—	0	—
	JOBRDB00	—	0	—
MFシリーズ 支援ライブラリ	CPEDASDO	—	0	—
	PAGPRT00	—	0	—
MF-eASSIST	PNAVICEC	●	0	—
	PNJOBXSP	—	0	—
	PNAVIVSP	—	0	—

※本体の使用仮想記憶域の増加が大きい場合、該当の箇所の色を付けて表示します。

例.	MF-XSP	CPEPRT00	—	124	—
		AIMPRT00	—	4	—

- 注意：(1) 本資料は弊社環境 (IBM環境) での結果に基づいています。環境により異なる場合がありますので、参考資料としてください。
(2) 実行時に仮想記憶領域不足が発生する場合、OVER16機能をご使用ください。
(3) CPECNVRTへの先行更新をCPEXSPCVにも反映した為、CPEXSPCV本体の使用量が増加しました。

【OVER16機能 指定方法】実行するプロセッサのJCLに次のような指定を追加してください。
REGIONサイズの指定は、お客様の環境に応じて変更してください。

¥CPESHELL EX CPESHELL, RSIZE=64M, OPT=DUMP	<=追加・変更
¥PRGLIB FD PRGLIB=DA, FILE=CPE. LOAD	
¥SYSRINT FD SYSRINT=DA, VOL=WORK, TRK=(5, 1), SOUT=OUTCLASS	
¥PARA PARM	<=追加
¥CPEPARM FD CPEPARM=*	<=追加
OVER16=CONVERTWORK	<=追加
OSTYPE=XSP	<=追加

OVER16機能の詳細につきましては「ES/1 NEO MFシリーズ 使用者の手引き 共通編 (IBM / 富士通 / 日立システム)」
'3.3.2 OVER16機能'をご参照ください。

既存プロセッサ

プロダクト	プログラム プロセッサ	分類	項番	項目	非互換	数値 変更	表示 変更	スイッチ 追加	特記事項	参照 ページ	記事 番号
MF-ADVISOR	GPECNVRT	拡張	1	FCチャンネル情報のサポート					IOX5サンプラー	3	521-008
	OPEXSPCV	拡張	2	FCチャンネル情報のサポート					IOX5サンプラー	4	521-009
MF-eASSIST	PNAVICEC	拡張	3	FCチャンネル情報のサポート					IOX5サンプラー	5	521-016
		変更	4	データがない場合のインターバル毎の出力を統一						5	521-020

◇表項目の説明

非互換 : 新旧バージョン間で、JCLやパラメータを変更しないとES/1が動作しない場合に●が付きます

数値変更 : 本バージョンの適用により出力される値(数値/文字列)に変更がある場合に●が付きます

表示変更 : 新規項目追加等により、レイアウトが変更した場合に●が付きます

スイッチ追加 : 新規スイッチが追加された場合に●が付きます

特記事項 : OSのバージョン、対象データなど環境が特定できる場合に明記します

既存プロセッサ

拡張一覧

プロダクト	プログラム プロセッサ	分類	項番	項目	非互換	数値 変更	表示 変更	スイッチ 追加	特記事項	参照 ページ	記事 番号
MF-ADVISOR	OPECNVRT	拡張	1	FCチャネル情報のサポート					IOX5サンブラー	3	521-008
	CPEXSPCV	拡張	2	FCチャネル情報のサポート					IOX5サンブラー	4	521-009
MF-eASSIST	PNAVICEC	拡張	3	FCチャネル情報のサポート					IOX5サンブラー	5	521-016

変更一覧

プロダクト	プログラム プロセッサ	分類	項番	項目	非互換	数値 変更	表示 変更	スイッチ 追加	特記事項	参照 ページ	記事 番号
MF-eASSIST	PNAVICEC	変更	1	データがない場合のインターバル毎の出力を統一						5	521-020

◇表項目の説明

非互換 : 新旧バージョン間で、JCLやパラメータを変更しないとES/1が動作しない場合に●が付きます

数値変更 : 本バージョンの適用により出力される値(数値/文字列)に変更がある場合に●が付きます

表示変更 : 新規項目追加等により、レイアウトが変更した場合に●が付きます

スイッチ追加 : 新規スイッチが追加された場合に●が付きます

特記事項 : OSのバージョン、対象データなど環境が特定できる場合に明記します

MF-ADVISOR

CPECNVRT

521-008. FC チャンネル情報のサポート

分類			数値変更	表示変更	スイッチ追加	特記事項
拡張	変更	不具合	—	—	—	I0X5 サンプラー

I0X5 サンプラーで取得できる FC チャンネル情報レコードを、ES/1 共通レコードタイプ 198-60 に変換できるようにしました。この拡張に伴うパラメータの追加はありません。

CPEXSPCV

521-009. FC チャンネル情報のサポート

分類			数値変更	表示変更	スイッチ追加	特記事項
拡張	変更	不具合	—	—	—	I0X5 サンプラー

I0X5 サンプラーで取得できる FC チャンネル情報レコードを、ES/1 共通レコードタイプ 198-60 に変換できるようにしました。この拡張に伴うパラメータの追加はありません。

MF-eASSIST

PNAVICEC

521-017. FC チャンネル情報のサポート

分類		数値変更	表示変更	スイッチ追加	特記事項
拡張	変更	不具合	—	—	—
					IOX5 サンプラー

IOX5 サンプラーで取得できる FC チャンネル情報レコードに対応しました。IOX5 サンプラーを指定した PDL データを入力すると次のレコードを出力します。この機能に伴うマクロの追加はありません。対象 FC チャンネルは既存の%PNCHPTC2 マクロで指定します。

【対象レコード】

- 拡張チャンネル (レコード名: EX_CHANNEL)

【指定例】

全ての FC チャンネル情報を出力する

```
%PNCHPTC2 CHP=*
```

521-020. データがない場合のインターバル毎の出力を統一

分類		数値変更	表示変更	スイッチ追加	特記事項
拡張	変更	不具合	—	—	—

入力に対象データがない場合、フラットファイルにはゼロか欠損値のいずれかを出力します。しかし先頭インターバルとその後のインターバルで異なる値を出力していました。今リリースからその基準を定め、出力を統一しました。

【対象項目】

【業務】レコード名: WKL

フィールド名	説明	データがない場合
RESP_AVG	平均応答時間(秒)	ゼロで出力
MPL_AVG	平均システム資源利用状況(MPL)	
TCB_AVG	平均システム資源利用状況(TCB%)	
MEM_AVG	平均システム資源利用状況(メモリ使用率%)	
RESP_CPU_AVG	平均応答時間内訳(CPU)(秒)	
RESP_SWAP_AVG	平均応答時間内訳(SWAP OUT)(秒)	
RESP_IO_AVG	平均応答時間内訳(I/O)(秒)	
RESP_MAX	最大応答時間(秒)	
MPL_MAX	最大システム資源利用状況(MPL)	
TCB_MAX	最大システム資源利用状況(TCB%)	
MEM_MAX	最大システム資源利用状況(メモリ使用率%)	
RESP_CPU_MAX	最大応答時間内訳(CPU)(秒)	
RESP_SWAP_MAX	最大応答時間内訳(SWAP OUT)(秒)	
RESP_IO_MAX	最大応答時間内訳(I/O)(秒)	

【業務サブグループ】レコード名：WKL_SUB

フィールド名	説明	データがない場合
RESP_AVG	平均応答時間(秒)	ゼロで出力
MPL_AVG	平均システム資源利用状況(MPL)	
TCB_AVG	平均システム資源利用状況(TCB%)	
MEM_AVG	平均システム資源利用状況(メモリ使用率%)	
RESP_CPU_AVG	平均応答時間内訳(CPU)(秒)	
RESP_SWAP_AVG	平均応答時間内訳(SWAP OUT)(秒)	
RESP_IO_AVG	平均応答時間内訳(I/O)(秒)	
RESP_MAX	最大応答時間(秒)	
MPL_MAX	最大システム資源利用状況(MPL)	
TCB_MAX	最大システム資源利用状況(TCB%)	
MEM_MAX	最大システム資源利用状況(メモリ使用率%)	
RESP_CPU_MAX	最大応答時間内訳(CPU)(秒)	
RESP_SWAP_MAX	最大応答時間内訳(SWAP OUT)(秒)	
RESP_IO_MAX	最大応答時間内訳(I/O)(秒)	

【特定業務】レコード名：WKL_TRC

フィールド名	説明	データがない場合
RESP_AVG	平均応答時間(秒)	ゼロで出力
MPL_AVG	平均システム資源利用状況(MPL)	
TCB_AVG	平均システム資源利用状況(TCB%)	
RESP_CPU_AVG	平均応答時間内訳(CPU)(秒)	
RESP_SWAP_AVG	平均応答時間内訳(SWAP OUT)(秒)	
RESP_IO_AVG	平均応答時間内訳(I/O)(秒)	
RESP_MAX	最大応答時間(秒)	
MPL_MAX	最大システム資源利用状況(MPL)	
TCB_MAX	最大システム資源利用状況(TCB%)	
RESP_CPU_MAX	最大応答時間内訳(CPU)(秒)	
RESP_SWAP_MAX	最大応答時間内訳(SWAP OUT)(秒)	
RESP_IO_MAX	最大応答時間内訳(I/O)(秒)	

ES/1 NEO MFシリーズ【PC】リリースニュースレター機能一覧 プログラム別

プログラム	分類	項番	項目	参照 ページ	記事 番号
Performance Navigator	拡張	1	FCチャンネル使用率グラフの追加	9	521-033
	拡張	2	チャンネルデータ転送量グラフへの対応	10	521-034

ES/1 NEO MFシリーズ【PC】リリースニュースレター機能一覧 カテゴリ分類別

拡張一覧

プログラム	分類	項番	項目	参照ページ	記事番号
Performance Navigator	拡張	1	FCチャンネル使用率グラフの追加	9	521-033
	拡張	2	チャンネルデータ転送量グラフへの対応	10	521-034

Performance Navigator(拡張)

521-033. FC チャンネル使用率グラフの追加

標準グラフに、FC(Fiber Channel)のチャンネルに関するグラフを追加しました。

【対象】

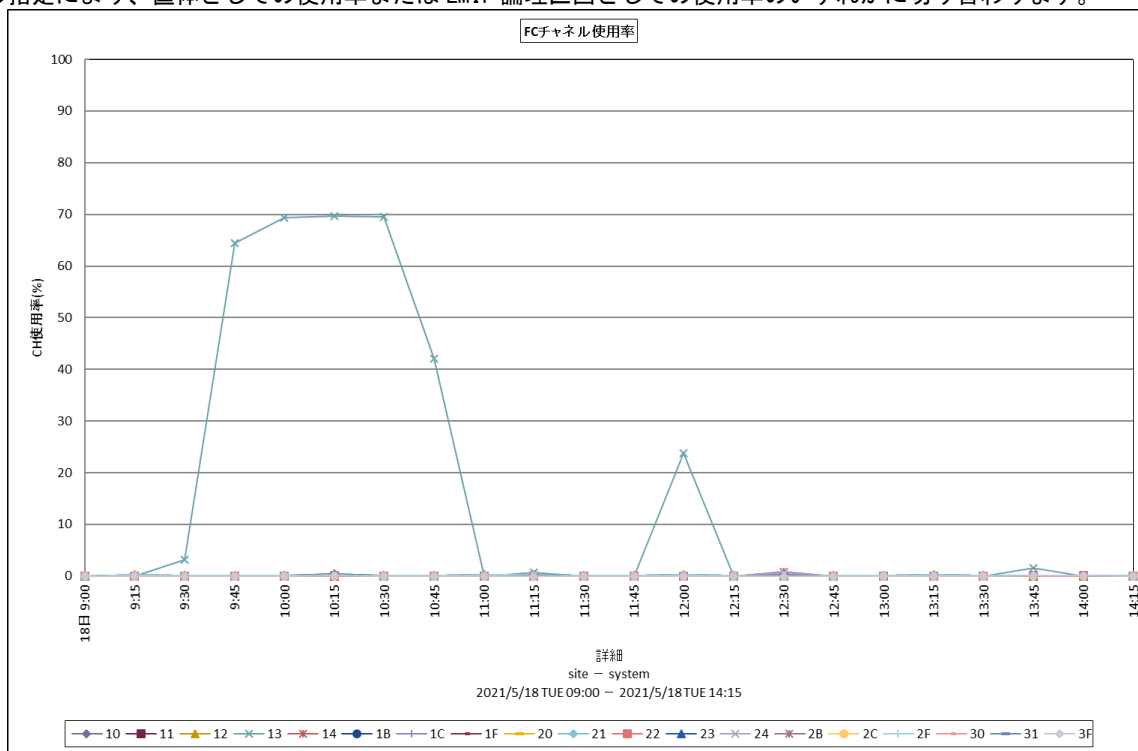
- ・ IBM : FICON チャンネル
- ・ MSP/XSP : FCLINK チャンネル

【追加グラフ】 ※[時系列]には詳細、時間、月次、年次のいずれかが入ります

FC チャンネル使用率[時系列]

【FC チャンネル使用率[詳細]】

このグラフは、指定した複数の FC チャンネルの使用率変動状況を示します。IBM の場合は JCL パラメータ EMIF スイッチの指定により、筐体としての使用率または EMIF 論理区画としての使用率のいずれかに切り替わります。



521-034. チャネルデータ転送量グラフへの対応

富士通 XSP 機をお使いの場合に次の標準グラフを出力できるように拡張しました。

【追加グラフ】 ※[時系列]には詳細、時間、月次、年次のいずれかが入ります

チャネルデータ転送量(対象区画) [時系列]

【チャネルデータ転送量(対象区画) [詳細]

このグラフは、指定したチャネル番号の対象区画における読み込みと書き込みのデータ転送量の変動状況を示します。

